

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 3月 8日

公表:平成 4年 3月22日

事業所名 児童発達支援 グローバル・キッズ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	2	職員の配置数は適切である	6			今回早期に放課後等デイサービスのスタッフとの移行支援が実現し、年長児童への配慮ができた
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切になされている	4		10	ビラハウスの療育室を借りて療育目的に応じた空間を確保することが出来て、利用者の自立支援が強化できた
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか。	6			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			保護者から返信された評価をもとに改善項目はスタッフ間で検討している
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		-	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		5	今年はオンラインにて各自自主的に研修に参加し、現場内で実践するように心がけた
適切な支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するためには、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6			利用者の個別支援計画をもとに、個人の月間療育予定と全体の月間予定表を作成し、連動して支援を振り返ることができるよう工夫している
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			毎月、全体会議を実施してスタッフの意見を実践に導入している

援の提供	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	6			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			個別と集団療育の役割担当を事前に決めて効率よく動けるように工夫している
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			特に送迎時の伝達は、所内に戻り、できるだけ当日に周知している
	19 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			担当月に責任を持ち記録をとるように心がけている
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6			
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			当初よりできる限り2名で参加するように心がけている
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5			まだ連携が取れていないため、今後の課題を思う
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	-		-	該当なし
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	-		-	該当なし
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6			以降での入園に向けて当所の療育支援内容を伝達している
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6			相談支援員を通して利用者の情報を報告し学校へ伝達していただいている
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			利用者が利用している他事業所の勉強会に参加することができた
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6			各利用者は個々に所属しており、送迎時に担任の先生より情報収集している
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5			
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して(ペアレント・トレーニング等の)支援を行っているか	6		5	

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			
	38	個人情報に十分注意しているか	6			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5		
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	6			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			ささいな内容でもヒヤリハットとして記録に残してスタッフ全員に周知している